

老人クラブに期待されている役割は？

- 老人クラブはこれまでも、見守り・友愛訪問、サロン、健康づくり・介護予防など、地域で助け合い・支え合いの活動を行ってきました。
- これらは、新地域支援事業で求められている介護予防・生活支援サービス（「多様な通いの場」「多様な生活支援」）の内容にほとんど重なるものです。
- これまでのクラブ活動を活かし、地域の関係機関・団体と協働しながら、自分たちのできる範囲で、新地域支援事業に担い手として参画していきましょう。



ごみ出し



買い物代行

老人クラブにおける活動例

多様な通いの場

- 交流サロン・喫茶室 ●趣味サークル
- 健康教室 ●体力測定 ●介護予防教室 等

多様な生活支援

- 声かけ ●安否確認（電話訪問）
- 見守り ●話し相手 ●お知らせ届け等情報提供
- 高齢消費者詐欺被害防止
- 防火・防犯・防災や災害避難協力
- 付き添い（通院・買物・墓参・サロンやクラブ活動場所等への同行）
- 軽作業（電球・電池・水道パッキン等交換、重量物や高所物の移動、障子張り替え、雑草刈り、植木せんてい、簡単な家の補修 等）
- 家事手伝い（掃除、窓ふき、草むしり、ごみ出し、布団干し 等）
- 買い物や諸手続き代行
- 配食
- 移送サービス 等

SC 大阪のアドバイザーから

会員増強運動にも つながる

大阪市立大学非常勤講師
竹村 安子氏



新地域支援事業では、老人クラブのこれまでの活動が、どちらかというとながななが対象だったのを、少し弱ってきた人も地域の仲間として対象にして取り組んでいくこととなります。サービスを利用する人にとっては、顔見知りの方が来てくれて話もできて、身近なところで見守ってもらえる安心感が得られます。活動する人にとっては、やりがいがあるし、地域の中で大きな評価を得ることにつながります。この取り組みがきっかけになって、老人クラブに入ろうという人ももっと増えてくると思います。

事業化することで 補助金も

大阪ソーシャルワーカー協会
会長 大塚 保信氏



外出支援や家事援助といった日常生活上の支援や、これまでも老人クラブでやってこられた見守り、訪問活動、サロン、助け合い活動を事業化することで補助金も出ます。当然、責任も発生しますが、それは老人クラブの活動が社会的に認められた証ですし、活動に携わる人たちの生きがい感や使命感を高めることにつながっていくでしょう。これを契機として老人クラブを活性化し、「老人クラブでもできる」というより「老人クラブだからできる」という動きになればと思います。